

トランプ登場

2017年1月20日、
第45代（第58期）の大統領誕生も間近（マジか？）

この2017年を百年単位で振り返る。
今なら、たった一行の歴史事象も、
当時は、驚天動地の大事件であった。

2017（平成29）	トランプ大統領就任
1917（大正6）	ロシア革命 ドイツが「無制限潜水艦作戦」を宣言 米国が連合国側として、ドイツに宣戦布告
1817（文化14）	「モンロー・ドクトリン」James Monroe 米国第5代大統領就任 リカルド「経済学原理」刊行
1717（享保2）	大岡忠相 町奉行に就任 異例の能吏であった
1617（元和2）	鳥取藩町人 日本海に浮かぶ「竹島」発見
1517（永正14）	ルター 95か条のテーゼ
1417（応永24）	カトリック教会、コンスタンツ公会議で 1378年から続いた教会大分裂（シスマ Schisma）を収拾
1317（文保元）	鎌倉幕府が、皇位を両統迭立にすることを提案する（文保の御和談）
1217（健保5）	実朝 渡宋断念 宋より渡来船沈没のため
1117（永久5）	春日神人 興福寺衆徒と闘争
1017（寛仁元）	藤原道長 太政大臣就任 信長・秀吉・家康の悪所を持つ人物だが、 ただ、背景とする「武力」はなかった？ 諸官位を詐称し、皇統に直接介入し、悪事数多。

917 (延喜17)	???
817 (弘仁8)	2月：新羅人33人、帰化、4月：新羅人144人、帰化する
717 (養老元)	・百姓の違法出家を禁じ、民間宗教活動の禁止・遣唐使出発 吉備真備、阿倍仲麻呂
617 (推古25)	この年、五穀登之(ミノレリ)「推古記」⇒「五穀豊穰」は最大の関心事
517	???
417	???
317	???
217	???
117	ローマ皇帝ハドリアヌス ユーフラテス以東を放棄 ローマ帝国領土最大 ⇒ 以後、帝国没落へ
17	???

内外の些細なスキャンダル情報で、そちらへ目が行くが、メディアは彼の意図を見極められていない。

トランプが目指す意図は、要約すれば、

- ① 世界の「ヒト、モノ、カネ、トチ」を、米・中・露で分割する
- ② 結果、21世紀前半は、
トランプ、プーチン、習とそれら後継者に託され、
「三大王」つまり、「大王政治」の時代となり、
「反近代主義」へ進路を採る。
- ③ これを可能ならしめるのが、
各国のメディアも「体制派」「反体制派」の区別なく、
騒ぎ回っているうちに、意図せざる自滅的消滅。
世界の学者や評論家は「大王統治下」で保身に徹し、
その役目は、それ以前に消滅。

このゴールの前に、わがトランプが進める震源地米国では、

- ④ **経済**：米国経済のかさ上げ、具体的には、
 NY証券取引所の「7 days a week, 24 hours a day,
 365 (366) day a year」のオープン。
 結果、他国の証券業界は、雪崩追従する。
 たったこれだけで、最強の武器となる。
 日本が、トランプより先手を採れば、最大の国益。
- ⑤ **外交**：国連からの脱退

国連分担金（2014年実績）

順位	国名 太字：常任理事国	人口（億人）	分担率 （%）
1	アメリカ合衆国	3.17	22.0
2	日本	1.27	10.8
3	ドイツ	0.82	7.1
4	フランス	0.63	5.5
5	英国	0.62	5.1
6	中華人民共和国	13.84	5.1
7	イタリア	0.66	4.4
8	カナダ	0.34	2.9
9	スペイン	0.46	2.9
10	ブラジル	1.98	2.9
11	ロシア	1.45	2.4

国連常任理事国：上記5か国 1, 4, 5, 6, 11

トランプは、拒否権発動常習の中・露に対して、
 国連が無意味な会議を重ねることの大いなる不満。
 日本もトランプに同調でき、チャンス到来。

- ⑥ **政治**：現行の米合衆国国憲法を廃し、
 新しい米強国憲法を制定。つまり、
The United States Constitution から
Make America Great Again Constitution へ。

トランプは、従来から、他者や民衆を厳格に類別する。
 A型：能力があり、自分で考え・行動する

B型：他者の考え・行動を理解または批判する

C型：自己が定まらず、他者への対応・反応の能力もなし

トランプが目指すのは、とりあえず、
B型を催眠的にC型に合流させること。

彼がプーチンを尊敬するのも、

彼や中国政権が、この手法で成功をおさめているから。

彼の派手な言動やメディア批判は、惹き付け効果狙いの、

「エサまき」にすぎない。

やがて、騒ぐメディアも評論家も、

投げられる餌が多すぎて、拾い疲れはてて、

何のために騒いでいるのか判別不可となり、

気が付けば、B型の終焉となる。

ここで、米国の「自由主義」、

ロシア憲法の「人権と基本的自由、自由権と社会権の保障」、

中国の「一党独裁主義」が、「三大王政治」により変調を来たす。

米国は、「一国優先主義」、

ロシアは「ツァー復活の1916年以前に戻り」、

中国は「一党から一者独裁主義」へ。

2017年を軸に、世界史は「トランプ的転回（展開）」となり、

我々は、歴史的瞬間に位置する。

面白い！